

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 平成31年3月11日

事業所名 放課後等デイサービス ぶーやん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 後継の進め方や改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容に応じて体育館などを利用しスペース確保に努めている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		管理者、マネージャーで確認をおこなっている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関やトイレなどバリアフリーではないが、活動スペースはバリアフリーである。トイレは手すりを付け対応している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	○		ヒヤリハット報告書を作成し業務改善に努めている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			昨年度までは集計と保護者の意向を取り入れていたが今年度より公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を検討しているが様々な問題があり実施できていない。今は事業所を巡回指導するマネージャーで業務改善に努めている。
	8 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に外部講師に依頼し、継続的な研修を年間実施。その他研修等で研修の機会を設けている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもへの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		音楽以外の職員の意見も取り込むように努めている	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもごとの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日職員全員でミーティングを行い、支援内容の役割分担の確認や情報共有する時間を確保している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有している	○		保護者の意向なども共有しながら、日々ミーティングをおこなって情報共有する時間を確保している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人記録の記入を行い次の支援に繋げている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 がドラインの原則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校からの連絡、報告等はスタッフ全員で共有している。送迎時などがトラブルが発生した時にはすぐに連絡をいれるよう体制を行っている。	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		相談支援員さんを通して主治医と連携を取れるようにしていきたい
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有を相互理解に努めている	○			利用開始前に担当者会議などで、就学前事業所の情報共有を行っている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害児サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	○			福祉サービス事業所にはデイでの支援内容の情報共有を行い各関係機関と連携を図っている。また、学校も含めた担当者会議の場で情報の提供を行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			現在は公共施設などで偶然一緒になる事はあるが意図的に交流する場面はなかなか作りにくい。今後の検討課題である。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	事業所参加は人数制限があり難しいが代表者が参加し、内容報告をして情報共有を行っている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に日々の支援の内容や状況をお伝えしている。必要に応じて電話や面談も行っている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○		職員の研修を受けている。今後保護者向け研修やスタッフが支援、援助を行う予定	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者さんの話をしやすい環境を作るよう寄り添って支援をしている。	
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			以前は保護者会を行っていたが現在は全体運動会やお祭り等企画して支援をおこなっている。今後開催できるよう計画をする予定
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35 個人情報に十分注意している	○			保護者さんには伝わってなかったもので周知に努め安心して利用して頂けるよう努める
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている		○		
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者への共有が出来ていなかったので今後ホームページやお便りなどへの記載を行っている。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画を作成し、必要な訓練などを行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		マニュアルも作成し支援計画書にも記載している。必要な時には保護者へ事前にお伝えできるように保護者へ保護者へ情報共有を行っている。	
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在受け入れはないが、今後必要に応じて保護者面談、医師の指示書の確認、エビエンの研修などをする予定	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		管理者、マネージャーも定期的に確認して共有できるように努めている。		